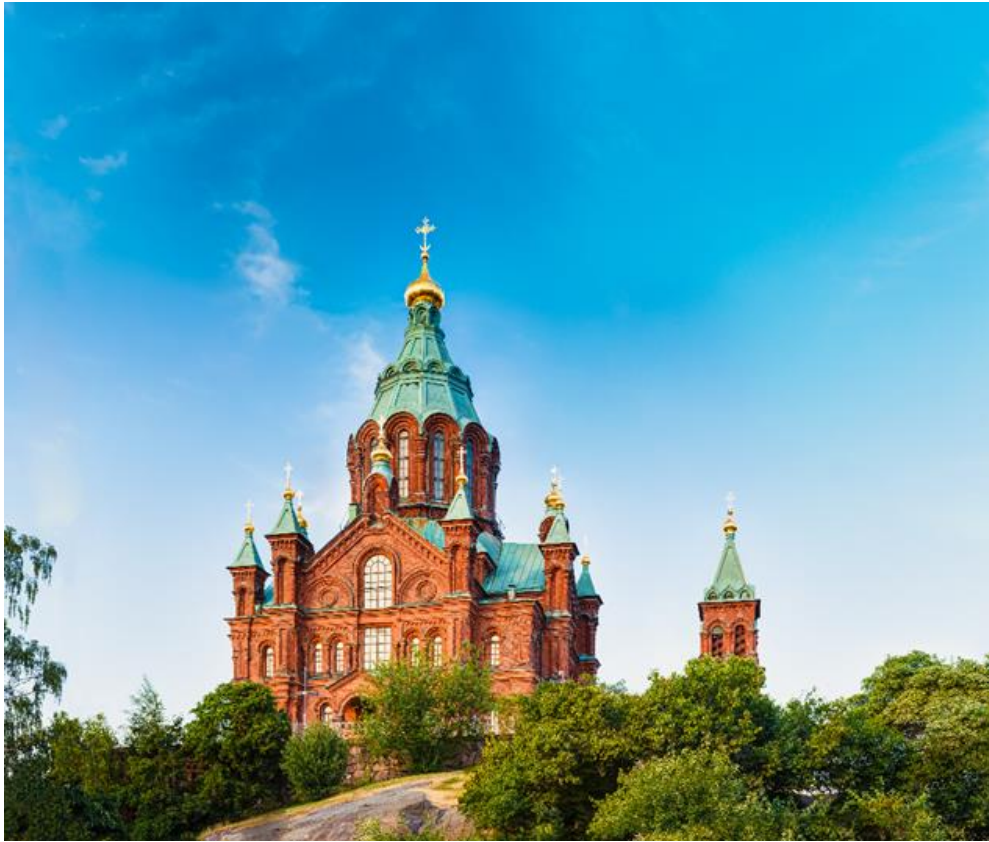




# NORWEGIAN CRUISE LINE®

## ノルウェージャンクルーズラインの 船旅でしか体験できないヨーロッパの隠れた魅力を発見

17年連続でヨーロッパのトップクルーズラインに選ばれた  
NCLだからこそ集約できたヨーロッパの魅力



2024年9月17日(東京) -ノルウェージャンクルーズライン(NCL)は、2025/26シーズンの10隻の客船を北ヨーロッパ、地中海、ギリシャの島々に配船することを発表しました。117港を訪れる280超のクルーズが運航します。いずれも、NCLによるこれまでの豊かな経験から企画された選りすぐりのアイテナリー揃い。クルーズの旅を最大限に楽しむための数々のエッセンスが詰まっています。

11の港から出航し、7泊~14泊のクルーズで訪れるのは全28か国。各港での平均停泊時間10時間に加え、オーバーナイトステイはアイスランドのレイキャヴィーク、デンマークのコペンハーゲン、ドイツのハンブルク、イタリアのリボルノ、ノルウェーのホニングスヴオーグ、トルコのイスタンブールなどで50泊以上など、夢のヨーロッパクルーズを実現するための選択肢も数限りなく広がっています。ミコノス島、サ

ントリーニ島、ドブロブニクといった夕日や夜の雰囲気では有名な港では深夜出港もあり、1 日で昼と夜のまったく異なる側面を楽しむこともできます。



(左)コペンハーゲン



(右)サントリーニ島

ノルウェー・クルーズライン アジア太平洋地区バイスプレジデント兼マネージングディレクターのベン・エンジェルは、「クルーズが提供する優れたバリューと利便性を考えれば、日本からのお客様が船でヨーロッパを訪れるのが好きなのも驚くにはあたりません。10 隻の客船による 280 本のクルーズというバラエティに富む多くの選択肢からお選びいただける 2025 年と 2026 年シーズンは、定番スポットからとっておきの秘密の場所まで織り込まれたもので、初めてのお客様から旅慣れたお客様にも、忘れられないヨーロッパ旅行を計画していただけます」としています。

### 絵のように美しい港に – NCL 初寄港の 3 港

NCL が販売中の 2026 年ヨーロッパシーズンには、ブランドとして初寄港する 3 港が含まれます。また、[ノルウェー・サン](#)による[バルト海](#)フルシーズンでは、NCL 初となるフィンランドのヘルシンキから出航するクルーズも。ヘルシンキでは、ユネスコ世界遺産スオメンリンナの要塞群を訪れたり、地元のニシン料理を味わったり、マーケット広場のホットチョコレートで温まったり、伝統的な薪を使ったサウナでリラックスタイムしたり、国立現代美術館キアズマで多彩なコレクションをチェックしたりなど、楽しみ方もいろいろです。比較的静かな海で知られるバルト海では、ほぼ毎日ノルウェー、ドイツ、ポーランド、リトアニア、スウェーデンなどの港を訪れることができます。

2026 年、[ノルウェー・スター](#)は初めてノルウェーのストルド島にあるレイアヴィクを訪れます。この町の豊かな海運とバイキングの遺産、歴史的な木造家屋が立ち並ぶ活気ある港、そして美しい夕日や自然の景観を満喫できます。さらにアクティブに過ごすなら、釣りをしたり、手つかずの自然の中起伏に富んだ地形をハイキングしたりなども。文化に触れるなら、海洋博物館や建築の至宝ストルド教会も見ごたえがあります。



同じく2026年、[ノルウェー جان ジェム](#)は、スペインのコスタブラバのパリマオスに初寄港。往時の面影を残すこの村は、漁業博物館のペスカ博物館、カタルーニャ文化、シーフード料理教室、ウォータースポーツで有名です。プラッチャカステルでカヤックをレンタルすれば、有名観光地から離れて、地元の人のように海を楽しむことができます。活気ある港を散策して、地元の魚市場を訪れ、この地方の名物・赤エビ料理に舌鼓を打つというのも一興です。

[ノルウェー ジャン スカイ](#)は、2026年ブリテン諸島クルーズのシリーズとして、スコットランドにある荒涼とした自然環境が特徴のスカイ島の港町ポートリーに入港します。揺れ動くボート、石畳の棧橋、白壁のコテージ、カフェやアートやクラフトのブティックが並ぶ曲がりくねった道が特徴的の町では、ジンのテイステイングをしたり、スコリーブレックパスを歩いて素晴らしい港の景色を眺めたり、ダンヴェガン城を訪れたり、魔法のように真っ青な水をたたえるフェアリープールの美しさをご覧になることもできます。

#### 行って見たかったあの場所にいけるツアー

ガイドと行く没入感のあるゴーローカルツアー、各地の持続可能な取り組みを紹介するゴーグリーンツアー、建築に特化したビヨンドブループリントといった NCL のテーマ別寄港地観光ツアーでは、ヨーロッパで最も魅力的な建造物の裏に隠されたデザインの秘密や興味深いストーリーを掘り下げたり、従来の定番観光では見えない現地の生活リズムを体験したり等、ひとりひとりの好奇心を満たすことができます。

#### ツアー例

##### ビヨンドブループリント: フィンランド、ヘルシンキのオーディ中央図書館とヘルシンキ音楽センター

オーディ中央図書館の録音スタジオや最上階の市民バルコニー、ヘルシンキ音楽センターの段々畑スタイルのコンサートホールなど、ヘルシンキで最も前衛的な 2 つの建物を建築史家のガイドの目を通して見学。

##### ゴーローカル: イタリア、ローマ(チビタベッキア)で最高の地元ローマ料理

カンポ・デ・フィオーリ市場のオリーブオイル、ローマピザ、古代水道の水を使ったコーヒーショップ・サンテウスタキオのエスプレッソ、ローマの老舗ジェラートショップのひとつジョリッティのデザートなど、ローマで最も古い地区のひとつルンゴ・イル・テベレを散策する食べ歩きツアー。

##### ゴーグリーン: エストニア、タリンで環境に配慮した消費活動と北欧デザイン

タリンのクリエイティブハブであるテリスキヴィ クリエイティブシティで高名な北欧デザイナーに会い、彼女がどのように廃棄された素材をアップサイクルして持続可能なファッションを生み出しているのか、そ



の内側を覗きます。ランチは環境に優しい写真美術館の廃棄物ゼロのレストランで、旧市街の景色を眺めながら。

#### ゴーローカル: モンテネグロ、コトルで村の日常生活

ゴラスダ砦で素晴らしい景色に感嘆した後は、ミラクの山村にあるカスケラン家の農園とブドウ園のウォーキングツアー。オーナーが田舎暮らしを語ってくれます。

#### 船上の価値を最大限活用するには

NCL のフリー・アット・シー特典は、クルージングで最も利用価値がある特典の 1 つです。無料飲料パッケージ、無料スペシャリティダイニング、無料 Wi-Fi、各寄港地で使える 50 ドルの寄港地観光クレジットを活用すれば、ヨーロッパクルーズの価値が増します。

グリルで焼きたてのハンバーガー、4 コースの食事、乗員とのカクテルなどを楽しめる最大 20 か所の食事場所の選択肢と数あるバーやラウンジからお気に入りの場所を見つけ、また賞受賞のエンターテイメントに感動すれば、船上体験を余すことなく最大限に楽しむことができます。

ノルウェージャンクルーズラインのクルーズについての詳細および予約は <https://www.ncl.com/jp/ja/>

#### ノルウェージャンクルーズラインについて

ノルウェージャンクルーズラインはその 57 年の歴史を通して、常にイノベーターとしてクルーズに新機軸を打ち出してきました。特に、好きな時に食事ができ、様々なエンターテイメントが楽しめ、フォーマル着用といったドレスコードがないなど、ひとりひとりのゲストにとって理想的なクルーズバケーションを自由にデザインできる柔軟性は、クルーズ業界に革命をもたらしました。最先端・コンテンポラリーを標榜する全 19 隻の保有船が、ノルウェージャンのプライベートアイランドのグレートスターラップケイ(バハマ)やハーベストケイ(ベリーズ)を始め、400 もの世界の人気のデスティネーションを隈なく巡っています。ノルウェージャンクルーズラインは地上および船上での優れたゲストサービスに加え、受賞歴に輝くエンターテイメントとダイニングオプション、さらには 1 人旅用ステートルーム、クラブバルコニースイート、スパスイート、そしてザ・ヘブン by ノルウェージャンと名付けられたラグジュアリースイート専用エリア等の豊富な選択肢でアコモデーションを提供しています。最新ニュースとスペシャルコンテンツは NCL Newsroom。Facebook、Instagram、Tik Tok、YouTube は @NorwegianCruiseLine。Twitter は @CruiseNorwegian。

画像提供はノルウェージャンクルーズライン

【発行元】ノルウェージャンクルーズライン PR 株式会社フレア

